

4輪ABS.....104

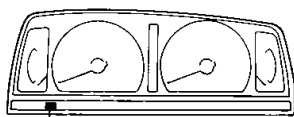
SRSエアバッグ.....105

## 4輪ABS

## グランデに注文装備

急制動時やすべりやすい路面での制動時には、車輪がロックすることがあります。4輪ABSは、このような制動時の車輪のロックを自動的に防止することにより、車両の方向安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

## ■ABS警告灯



ABS警告灯

ABS

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。



処置

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。

- 走行中に点灯したとき。

警告灯が点灯しているときは4輪ABSは作動せず、普通のブレーキとして作動します。

なお、走行中に点灯してもその後消灯し、再度点灯しなければ正常です。



注意!

- 4輪ABSを過信しないでください。4輪ABSが作動した状態でも車両の方向安定性や操舵性の確保には限界があり、思わぬ事故につながるおそれがあります。常に安全運転に心がけてください。

- 次の場合などには、とくに速度をひかえめにして車間距離を十分とってください。4輪ABSのついていない車両に比べて制動距離が長くなることもあり事故につながるおそれがあります。
  - ・ジャリ道、新雪路を走行しているとき
  - ・タイヤチェーンを装着しているとき
  - ・道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
  - ・凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき



ちよつと一言

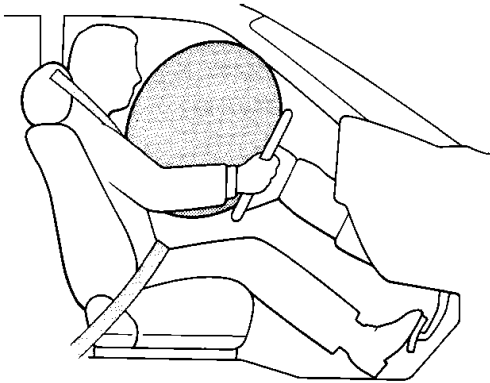
- ブレーキペダルを踏んだとき、作動音とともにペダルが小刻みに動くことがあります。これは4輪ABSが正常に作動しているときの現象で異常ではありません。さらにブレーキペダルを強く踏み続けてください。

- エンジン始動時や始動後の発進直後にエンジンルームからモーター音が聞こえることがあります。これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

- 4輪ABSは、発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また、車速が約5km/hまで下がると作動をやめます。

## SRSエアバッグ

グランデ、GRサルーン、GLに注文装備



SRS\*エアバッグは、運転者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときにふくらみ、シートベルトが身体を拘束する働きとあわせて顔や頭がハンドルに直接衝突するのを防止する装置です。

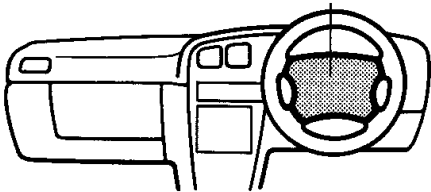
シートベルトは必ず着用してください。(34ページ参照)

\*SRSはSupplemental Restraint Systemの略で、乗員保護補助装置の意味



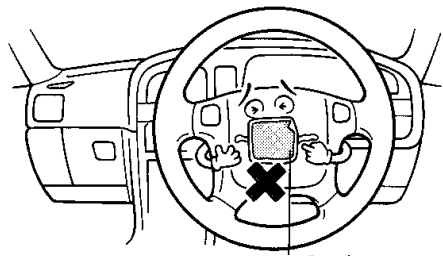
- SRSエアバッグは一度ふくらむと再使用できません。必ずトヨタ販売店で交換してください。
- SRSエアバッグが収納されているパッド部に傷がついていたり、ひび割れがあるときはトヨタ販売店で交換してください。

パッド部



注意!

1. シートベルトを正しく着用してください。SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置でシートベルトに代わるものではありません。シートベルトを正しく着用しないと、SRSエアバッグの効果を発揮させることができません。シートベルトの着用については34ページを参照してください。
2. シートを正しい位置に調整してください。シートを正しい位置に調整しないと、SRSエアバッグの効果を発揮させることができません。シートの調整については30ページを参照してください。
3. 正しい姿勢でシートにすわってください。正しい姿勢ですわらないとSRSエアバッグの効果を発揮させることができません。また、ハンドルに近づきすぎると、SRSエアバッグがふくらんだときにケガをするおそれがあり危険です。正しい姿勢については30ページを参照してください。
4. パッド部をカバーやステッカーなどでおおわないでください。パッド部がおおわれているとSRSエアバッグを正常に作動させることができません。



ステッカー



注意！

5. SRSエアバッグがふくらんだあとに、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。SRSエアバッグがふくらんだあとは、構成部品が大変熱くなっていますので、やけどをするおそれがあり危険です。
6. SRSエアバッグの取り付け・取りはずし、分解などをしないでください。また、SRSエアバッグを修理するときは必ずトヨタ販売店で行ってください。SRSエアバッグを不適切にあつかうと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみケガをするおそれがあり危険です。
7. サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり、サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあり危険です。
8. 車両前部にグリルガードやウインチなどを装着する場合は、必ずトヨタ販売店にご相談ください。車両前部の改造をするとSRSエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあり危険です。
9. 車やSRSエアバッグを廃棄するときは必ずトヨタ販売店にご相談ください。SRSエアバッグが思いがけなく作動し、ケガをするおそれがあり危険です。



ちよつと言

- SRSエアバッグは車両前方から強い衝撃を受けたときに作動します。次のような衝撃が弱いときには作動しないことがあります。
  - ・コンクリートの壁に約20km/h以下の速度で正面衝突したとき
  - ・電柱に約30km/h以下の速度で正面衝突したとき
- なお、次のような場合は効果を発揮しません。
  - ・側面や後方から衝撃を受けたとき
  - ・車両が横転、転覆したとき
- SRSエアバッグが作動すると作動音とともに白い煙のようなガスが発生しますが火災ではありません。また、人体への影響もありません。